

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	長寿支援課	事業No.	97
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H30	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画	
	法令・例規等			飯田市介護予防拠点施設条例	
事業目的	対象	介護予防拠点施設			
	意図	適切な施設の管理運営を図る			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	・社会福祉法人飯田市社会福祉協議会の指定管理により介護予防拠点施設「おめでとうサロン」の管理業務を行いました。 ・「おめでとうサロン」で介護予防事業（介護予防活動、認知症対策活動等）を行いました。		介護予防拠点管理委託料				1,233					
			その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	介護予防拠点施設利用人数		人				458	5,000	4,955	5,000	2,793	
2年度決算(千円)	予算額		1,333	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		1,233									
	財源の状況	国庫支出金		0								
		県支出金		0								
		地方債		0								
		その他		0								
一般財源		1,233										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	3	1	10	11	2	1,333	1,233	介護予防拠点管理運営事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		・はつらつ運動塾やシニアのための栄養講座の開催、また今年度から認知症カフェの会場として毎週使用の予定でしたが、コロナ禍の影響により、各種講座の多くは開催できず、認知症カフェについても、数回程度の開催に留まりました。 ・コロナ禍の影響が続くことも予想される中、介護予防の「拠点」施設として、効果的な利用方法や感染防止対策について課題があります。								
上記の課題解決のための有効策		・指定管理者である飯田市社会福祉協議会と、効果的な利用方法等について、協議を継続します。								
次年度に向けての取り組み		・コロナ禍の状況等を注視しつつ、指定管理者である飯田市社会福祉協議会と協議し、可能な限り、介護予防に資する各種講座等の開催を進めます。								